

日本臨床宗教師会ニュースレター

第17号

新会長挨拶

日本臨床宗教師会会長 島蘭 進

日本臨床宗教師会は2016年に発足し、9年を経過しました。私は発足時に会長を務めましたが、5年が経過した2021年からは鎌田東二氏が会長を務めて下さいました。このほど鎌田会長が退任されるにあたり、再び私が会長を務めることになりました。

鎌田会長は2022年12月にステージ4のがんが見つかり、以後、闘病の厳しい時期も会長として力強く職務をお務め下さり、2025年3月、任期をまっとうされました。『スピリチュアルケア——臨床宗教師によるインターフェイス実践の試み』は任期を終えられる間に刊行されたものです。

日本臨床宗教師会の名称は英語では Society for Interfaith Chaplaincy in Japan となりますが、本書はその「Interfaith インターフェイス」の意義について本会の多くのメンバーが考察と討議を重ねてまとめられたものです。鎌田会長が積極的に行ってこられたこの取り組みの成果が刊行された意義は大きく、日本臨床宗教師会のあゆみにとっても大きな一歩となりました。

コロナ禍は過ぎたようですが、病院等での臨床宗教師のケア活動についてはなお制限が加えられがちです。他方、臨床宗教師の活動の場は病院や介護施設にとどまらず、被災地や地域社会のさまざまな領域に広がってきています。臨床宗教師の活動様態の多様化が進行しています。

一方、社会のさまざまな分野でも、スピリチュアルケアやグリーフケアの意義、また傾聴や寄り添いケアの意義が認められるようになってきています。それだけ期待されるものにもなって来ています。

新たな時代の求めるところ、また宗教や文化環境の違いを踏まえて、日本独自の形での

新会長挨拶	p. 1
社会活動支援委員会の設置について	p. 1
『スピリチュアルケア』出版	p. 2
令和7年度総会	p. 3
令和6年度第1回理事会議事録	p. 6
令和6年度第2回臨時理事会議事録	p. 7
令和6年度第3回臨時理事会議事録	p. 7
令和6年度第4回理事会議事録	p. 8
事務局より	p. 8

臨床宗教的なケアが展開していくこととなります。これは新たなチャレンジであり、創造的な対応が求められています。

このようなチャレンジに応え、日本の臨床宗教師が人々により適切に認知され、社会に根づいていくことを目指して、任務を果たしていきたいと思います。

(しまぞの・すすむ、東京大学名誉教授、大正大学客員教授、龍谷大学客員教授、上智大学グリーフケア研究所客員所員)

社会活動支援委員会の設置について

島蘭 進

日本臨床宗教師会は2016年に発足し、9年を経過しました。鎌田前会長の任期中はコロナ感染症の流行のために、臨床宗教師の活動が容易でなく、交流も活発には行えなくなった時期が長かったのです。しかし、この時期、主として会員対象にカフェデモンクサミット、岡部健医師没後10年のシンポジウム、インターフェイスに関わる連続講座、それに触発された比較臨床宗教講座などが行われてきたのは、会員の相互交流という点から

も、臨床宗教師の活動のあり方の模索という側面からも大いに意義あることでした。

コロナ禍ではとくに病院や介護施設などでの臨床宗教師の活動が行いにくくなりました。三密を避けるために、臨床宗教師が医療や介護のケアを受けている方々と交わる機会が制限され、それは2025年の現在も続いている場合が多いようです。しかし、病院以外の場でのさまざまな活動には一定の制約はあったものの、この時期にも積極的にケア活動が行われた例が少なくありませんでした。災害支援、地域での高齢者ケア、障がい者の支援、地域の子どものケア、グリーンケア、「カルト」2世のケアなどです。

こうした多様な活動は地域を超えて広がっており、その情報は全国の臨床宗教師の活動のヒントになることも少なくありません。そこで、臨床宗教師のさまざまな活動について相互に学び合い、多様な活動の充実に向けてともに学び考えていく場が必要になっています。コロナ禍で会員たちのイニシアティブですで行われていた集いがいくつかありましたが、それらを臨床宗教師会の活動として見渡しながら支援する委員会として、この度、社会活動支援委員会が設置されました。

とりあえず、主に下記のような領域で会員及び地域会の活動を支援し、全国連携委員会や各地域臨床宗教師会と緊密な連携をとりながら、日本臨床宗教師会の活動の充実を進めていきたいと考えています。

- 1)災害支援や防災について、各地域固有の歴史や地理的要因を理解し十分に配慮しながら、各地域での活動の現状について実施状況を共有していく。行政や福祉などの他職種との連携についても進めていく。
- 2)事務局と連絡を取り合いながら、日本臨床宗教師会への傾聴依頼や社会的問題への取り組みの依頼に応じたり、行政や市民社会からの要請に対応する際の窓口となる。
- 3)比較臨床宗教講座、インターフェイス勉強会など、日本臨床宗教師会会員の相互交流に資するような研修や学び合いの場を設ける。
- 4)その他 この委員会は全国の臨床宗教師会の会員がどのような活動を行っているか、活動を進める上でどのような困難があり、どのような課題があるかについて情報を共有し、それぞれの地域での活動に生かしていくための学び合いの場となるとともに、全国臨床宗

教師会がそれをどのように支えていくことができるかを考えていく場になります。

倫理委員会、教育委員会、研究委員会、全国連携委員会などと協力しながら、日本臨床宗教師会のいっそうの発展に貢献することを目指しています。社会活動支援委員会はその内容について、積極的に情報発信していくことが望まれます。会員の皆さまが関心をもって見守って下さることを願っています。

日本臨床宗教師会（編著）『スピリチュアルケア 臨床宗教師によるインターフェイス実践の試み』について

日本臨床宗教師会 理事、同インターフェイス・ワーキンググループ（元）座長

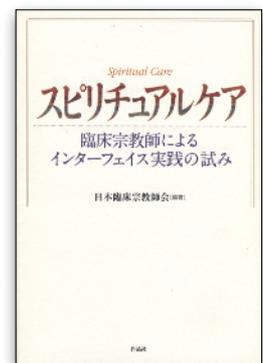
小西達也

日本臨床宗教師会（編著）「スピリチュアルケア」が、皆様のお手元に届いているかと思えます。同書の中心テーマは、「インターフェイス（Interfaith、「特定宗教の枠を超えた／超宗教の）」です。

この「インターフェイス」こそが、様々な宗教的背景の臨床宗教師が、様々な宗教的背景の臨床宗教師と協働しつつ、様々な宗教的背景のケア対象者をケアする、臨床宗教師活動の最も本質的なキーワードと言えるかと思えます。

「インターフェイス」概念は、鎌田東二前会長が臨床宗教師会発足のはるか以前からその人生全体を通じて強い関心を持ち続けてきたもので、同氏のご提案で2022年8月の理事会でインターフェイス・ワーキンググループ（窪寺俊之、谷山洋三、小西達也（座長））が発足、その主催として開催された一連のシンポジウムおよび座談会での討議内容が同書の主な内容となっています。

具体的には、カフェデモンク・オフィスのご協力のもと2023年4月7日、14日に開催されたオンライン・シンポジウム、「インターフェイスの集いI、II」（同書第1章、第2章収録）、その後その内容について本質的な問



題提起を下された安井幹直氏を迎えシンポジウムの内容を解き明かすために行われた座談会（第3章）、そして米国でインターフェイス・チャプレンとして活躍されている河合紀子氏を招きインターフェイス・チャプレンの現場実践の視点からインターフェイスの本質を探るために開催された座談会（第4章）の内容が収録されています。

「インターフェイス」実践の最も本質的なキーワードは「ビリーフ自由」です。それは単に臨床宗教師が、自らのビリーフをケア対象者や他の臨床宗教師に「押しつけない」ためだけのものではなく、臨床宗教師の最も重要かつ基本的な在り方とも言うべき「一人の人間として」の在り方を実現するものでもあります。臨床宗教師活動は、その所属する宗教宗派の文化や慣習等からも一旦自由になり、「素の自分」、裸の「一人の人間として」の次元に目覚めることからその全てが始まります。その上で他の臨床宗教師と協働しケア実践を行っていく。更には「一人の人間として」の独自の信仰を生涯模索していくこととなります。

同書には臨床宗教師の実践に必要な事柄、その活動を通じて深めていくべき事柄が各所で述べられています。是非、ご一読・ご精読頂ければ幸いです。

令和7年度総会

3月3日(月)に、フォローアップ研修にあわせて大正大学巣鴨キャンパスにて開催しました。

役員・委員会について

新役員は下記の通りです。

役員

会長 島藺 進(東京大学名誉教授)
副会長 瀧口 俊子(放送大学名誉教授)
谷山洋三(東北大学)
沼口 諭(沼口医院)
顧問 石井 研士(國學院大學)
伊藤文雄(元・ルーテル神学校)
窪寺 俊之(兵庫大学)
高木 慶子(上智大学グリーンケア研究所
名誉所長)
事務局長 高橋 原(東北大学)
事務局次長 鍋島直樹(龍谷大学)
理事 足立隆厳(北海道臨床宗教師会)

井川裕覚(関東臨床宗教師会)
池内龍太郎(いけのうち内科精神科
クリニック)

伊藤雅之(愛知学院大学)
猪 智真(日本スピリチュアルケア
ワーカー協会)

大村哲夫(上智大学)
葛西賢太(上智大学)
木村雅恵(天理教教会)
黒川雅代子(龍谷大学)
小西達也(武蔵野大学)
小林 茂(札幌学院大学)
坂野大徹(中部臨床宗教師会)
佐藤慶太(鶴見大学)
曾根宣雄(大正大学)
高橋悦堂(東北臨床宗教師会)
童銅啓純(四国臨床宗教師会)
庭野光代(立正佼成会)
野々日月泉(真宗大谷派寺院)
榊野統胤(中国地方臨床宗教師会)
松本峰哲(種智院大学)
森田敬史(関西臨床宗教師会)
吉尾天声(九州臨床宗教師会)
鷲尾龍華(大本山石山寺)
監事 大下大圓(日本スピリチュアルケア
ワーカー協会)
柏木哲夫(淀川キリスト教病院)

委員会

- (1)資格認定委員会
委員長：小西達也
副委員長：瀧口俊子、谷山洋三、沼口 諭
事務局サポート(鍋島直樹)
顧問：柏木哲夫
- (2)研究委員会
委員長：曾根宣雄
副委員長：鍋島直樹
委員：伊藤雅之、井川裕覚、池内龍太郎、
高橋悦堂
事務局サポート(井川裕覚、高橋悦堂)
- (3)倫理委員会
委員長：瀧口俊子
副委員長：大村哲夫
委員：女性2名、男性1名
- (4)教育委員会
委員長：沼口 諭

委員：谷山洋三、鍋島直樹、松本峰哲、
梶野統胤、森田敬史
事務局サポート（打本弘祐）

(5)全国連携委員会

委員長：童銅啓純
副委員長：足立隆厳
委員：井川裕寛、坂野大徹、高橋悦堂、
森田敬史、梶野統胤、吉尾天声
事務局サポート（高橋原）
顧問：島蘭進

(6)社会活動支援委員会

委員長：野々目月泉
委員：足立隆厳、天野宏心、井川裕寛、
岩崎哲秀、楠 應知、小林茂、高橋一天
田中至道、西田純勝、松本二三秋、
森田敬史、吉尾天声、吉村真樹子
事務局サポート（高橋原）
顧問：島蘭進

(7)運営委員会

委員長：島蘭進
委員：瀧口俊子、谷山洋三、沼口諭

事務局サポート（鍋島直樹、高橋原）
顧問：大下大圓、柏木哲夫

令和6年度事業報告・決算報告

- ・第8回フォローアップ研修 令和6年4月14日 東北大学（対面）
- ・第9回総会 令和6年4月14日 東北大学（対面）
- ・第14回資格認定（新規修了者5名／更新5名／猶予5名／返上7名／停止2名：総計210名）
- ・第4回資格更新受付 令和6年6月～7月
- ・第15回資格認定（新規修了者11名／更新4名／猶予4名／返上8名／停止2名／剥奪2名：総計211名）
- ・第5回資格更新受付 令和6年11月～12月
- ・第12回教育プログラム認定（なし）
- ・第13回教育プログラム認定（なし）
- ・第1回理事会 令和6年4月13日 ハイブリッド
- ・第2回臨時理事会 令和6年7月28日 オンライン
- ・第3回臨時理事会 令和6年9月8日 オンライン
- ・第4回理事会 令和6年12月1日 オンライン

収支決算書

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

(単位＝円)

科目	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
1. 会費収入	¥ 1,800,000	¥ 1,905,500	¥ 105,500
2. 資格認定料	¥ 600,000	¥ 540,000	¥ -60,000 ※1
3. 研修参加料	¥ 75,000	¥ 15,500	¥ -59,500
4. 寄附金収入	¥ -	¥ 5,000	¥ 5,000
5. 助成金収入	¥ -	¥ -	¥ -
6. 懇親会収入	¥ -	¥ -	¥ -
7. 雑収入（法人税還付金等）	¥ 50,000	¥ 63,805	¥ 13,805 ※2
8. 受取利息	¥ 60	¥ 1,218	¥ 1,158
収入合計(A)	¥ 2,525,060	¥ 2,531,023	¥ 5,963
I I 支出の部			
1. 会議費	¥ 300,000	¥ 228,130	¥ -71,870
2. 通信費	¥ 150,000	¥ 128,160	¥ -21,840
3. 懇親会費	¥ -	¥ -	¥ -
4. 接待交際費	¥ 10,000	¥ -	¥ -10,000
5. 印刷製本費	¥ 450,000	¥ 287,400	¥ -162,600
6. 支払報酬	¥ 800,000	¥ 746,038	¥ -53,962 ※3
7. 事務費	¥ 100,000	¥ 43,065	¥ -56,935
8. 雑費	¥ 30,000	¥ 17,160	¥ -12,840
9. 法人税	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ -
支出合計(B)	¥ 1,890,000	¥ 1,499,953	¥ -390,047
当期収支差額(C=A-B)	¥ 635,060	¥ 1,031,070	¥ 396,010
前期繰越収支差額(D)	¥ 9,763,433	¥ 9,763,433	¥ -
次期繰越収支差額(C+D)	¥ 10,398,493	¥ 10,794,503	¥ 396,010

※1 新規資格認定料＋資格更新料

※2 法人税還付金と前年度の過払い金返金

※3 弁護士・行政書士・事務員への報酬

令和7年度事業計画・予算

- ・第9回フォローアップ研修 令和7年3月3日 大正大学（対面）
- ・第10回総会 令和7年3月3日 大正大学（ハイブリッド）
- ・10周年記念書籍刊行 令和7年3月
- ・第16回資格認定（新規修了者6名／更新8名／猶予18名／失効5名／失効手続き取消1名／停止解除1名：総計213名）
- ・第6回資格更新受付 令和7年6月～7月
- ・第17回資格認定 令和7年6月～7月
- ・第7回資格更新受付 令和7年11月～12月
- ・第14回教育プログラム認定 令和7年6月～7月
- ・第15回教育プログラム認定 令和7年11月～12月
- ・第1回理事会 令和7年3月2日 ハイブリッド
- ・第2回臨時理事会 令和7年3月3日 ハイブリッド
- ・第3回理事会 令和7年9月頃 オンライン

会員数の報告

入会者数：正会員21名、賛助会員(個人)1名。退会者数：正会員20名、賛助会員(個人)1名、顧問1名。合計して2025年3月3日現在の会員数は、正会員300名、准会員3名、賛助会員（個人）6名、賛助会員（団体）13団体、顧問4名となりました。
 <入会者> 山本顕生、廣澤陽子、古谷謙宗、荻原充、重田尊子、赤松勸誠、小泉毅、真田秀亮、升崎美由紀、金城礼、長岡俊成、山崎洋史、伊藤

絵里、宇佐美智瑞、菊岡妙光、日比堯正、日比洗紹、後藤証悟、飯島恵道、巖照正、木原沙友里（以上正会員）、成瀬隆倫（賛助会員）
 <退会者> 秋田尚文、岩佐隆昇、大島英子、吉田彦英、武良順、引田弘道、宮崎正美、山本清英、山本純照、田中杏珠、梯妙花、山下雅史、野々村弘智、袖山英里、松永徳成、花村みほ、斎藤軍記、橋勇人、南山良俊、鎌田東二（以上正会員）、鈴木岩弓（顧問）、佐藤輝（賛助会員）

認定臨床宗教師

認定臨床宗教師の認定について、修了者17名、資格更新者9名、資格更新猶予者19名、資格失効者14名、資格停止者2名（うち1名は解除）を承認しました。

<認定者> 赤松勸誠、岩倉健太、植田登、荻原充、金城礼、小泉毅、真田秀亮、重田尊子、長岡俊成、廣澤陽子、古谷謙宗、菊岡妙光、宇佐美智瑞、伊藤絵里、日比堯正、山崎洋史、後藤証悟

<資格更新者> 成田慶信、吉尾天声、高橋一天、岡安学、鈴木智雄、谷信介、村鳥正浩、中村由佳子、竹中了祥

<資格更新猶予者> 駒秀夫、小林茂、坂本顕一、大野高志、原遵由、柱本惇（以上12ヶ月）、井上孝彌、大澤尊光、小山田和正、渡辺有（以上24ヶ月）、倉本龍美、藤本弘信、松山宏成（以上36ヶ月）、國友朋子、西郊良俊、樋口泰巧、堀口

一般社団法人日本臨床宗教師会令和7年度収支予算書
 (令和7年1月1日～令和7年12月31日)

(単位＝円)

科目	R6予算額	R6決算額	R7予算額	R6予算との差異	備考
I 収入の部					
1. 会費収入	¥ 1,800,000	¥ 1,905,500	¥ 2,000,000	¥ 200,000	正会員300名、団体11団体他
2. 資格認定料	¥ 600,000	¥ 540,000	¥ 600,000	¥ -	新規20名、更新10名見込
3. 研修参加料	¥ 75,000	¥ 15,500	¥ 75,000	¥ -	50名見込
4. 寄附金収入	¥ -	¥ 5,000	¥ -	¥ -	
5. 助成金収入	¥ -	¥ -	¥ -	¥ -	
6. 懇親会収入	¥ -	¥ -	¥ -	¥ -	
7. 雑収入	¥ 50,000	¥ 63,805	¥ 50,000	¥ -	法人税還付金
8. 受取利息	¥ 60	¥ 1,218	¥ 1,000	¥ 940	
収入合計 (A)	¥ 2,525,060	¥ 2,531,023	¥ 2,726,000	¥ 200,940	
II 支出の部					
1. 会議費	¥ 300,000	¥ 228,130	¥ 700,000	¥ 400,000	
2. 通信費	¥ 150,000	¥ 128,160	¥ 150,000	¥ -	
3. 懇親会費	¥ -	¥ -	¥ -	¥ -	
4. 接待交際費	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	¥ -	慶弔費
5. 印刷製本費	¥ 450,000	¥ 287,400	¥ 2,650,000	¥ 2,200,000	認定証、NL、リーフレット、活動報告書、書籍
6. 支払報酬	¥ 800,000	¥ 746,038	¥ 800,000	¥ -	
7. 事務費	¥ 100,000	¥ 43,065	¥ 100,000	¥ -	
8. 雑費	¥ 30,000	¥ 17,160	¥ 30,000	¥ -	振り込み手数料、サーバ使用料、等
9. 法人税	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ -	仙台市
支出合計 (B)	¥ 1,890,000	¥ 1,499,953	¥ 4,490,000	¥ 2,600,000	
当期収支差額 (C=A-B)	¥ 635,060	¥ 1,031,070	¥ -1,764,000	¥ -2,399,060	
前期繰越収支差額 (D)	¥ 9,763,433	¥ 9,763,433	¥ 10,794,503	¥ 1,031,070	
次期繰越収支差額 (C+D)	¥ 10,398,493	¥ 10,794,503	¥ 9,030,503	¥ -1,367,990	

哲哉（以上 24+12ヶ月）、北條真美恵、三浦賢翁（以上 12+24ヶ月）

<資格失効者> 山本清英、山本純照、武良順、田中杏珠、土屋千裕、野々村弘智、福間伸思、山下雅史、吉田彦英、山隈由貴子、熱田幸作、梯妙花、花岡尚樹、松永徳成

教育プログラム認定委員会報告

- ・上智大より指導者1名の抹消と登録、東北大より指導者1名の抹消と登録の届があり承認した。
- ・研究委員会と合同で教育プログラムのアンケートを実施。
- ・今年度より継続教育委員会と合併する。

継続教育委員会報告

- ・今年度より教育プログラム認定委員会と合併する。

倫理委員会報告

- ・毎月オンライン会議を実施。申立書による倫理案件なし。相談は十数件。
- ・2024年9月3日に全国倫理委員連絡会議を開催。次回は2025年5月23日を予定。

・倫理研修の実施（4/14 日本、5/24 関西、6/13 関東、11/10 関西、12/2 中国地方、12/19 関東、12/22 中部、2/9 関西）

※「相談」：倫理に関する相談に応じる。調査や処遇は行わない。

※「申立」：会長に対して倫理に関する処遇を求める。定められた書式による「申立書」の提出によって、会長が倫理委員会に諮問する。受理の場合、関係者に聴取りを実施するなどの調査を行い、会長に意見具申（答申）する。会長は処遇を承認した場合、理事会に諮り承認を求める。

研究委員会報告

- ・教育プログラム認定委員会と合同で教育プログラムのアンケートを実施。
- ・会員向けの講師・論文・作品のリストを作成したので、適宜会員と共有する。

全国連携委員会報告

- ・4/6、6/2、2/11にオンライン会議。各地区からの情報を共有。
- ・新年度の委員会構成の検討のほか、全国連携委員会細則の改定案提出。
- ・社会活動支援委員会について意見聴取。

編集委員会報告

- ・10周年記念出版として、日本臨床宗教師会編著『スピリチュアルケア 臨床宗教師によるインターフェイス実践の試み』を作品社より刊行。会員には無料で配付する。

令和6年度第1回理事会議事録（抄）

日時： 令和6年4月13日(土) 19時～21時

会場： 東北大学文学研究科棟+オンライン

出席：鎌田東二（会長）、大下大圓（副会長）、谷山洋三、鍋島直樹、井川裕寛、曾根宣雄、松本峰哲、松谷寛元、打本弘祐（以上、対面）、瀧口俊子（副会長）、沼口諭（副会長）、島藺進（監事）、池内龍太郎、大村哲夫、葛西賢太、黒川雅代子、小西達也、坂野大徹、野々日月泉、梶野統胤、童銅啓純、吉尾天声、高橋原（以上、オンライン）

欠席（委任状あり）：柏木哲夫（監事）、足立隆厳、篠原鋭一（退任希望）、森田敬史

欠席： 金田諦應（副会長、退任希望）、伊藤雅之、佐藤慶太、杉岡孝紀（逝去）

<議案>

1. 前回議事録が承認された。

2. 役員の内退

篠原理事、杉岡理事（逝去）、金田理事の内退が承認された。

3. 入退会申込者について承認された。

入会：正会員11名

退会：正会員9名

合計：正会員300名、准会員3名、賛助会員（個人）6名、賛助会員（団体）13団体、顧問5名

4. 10周年出版企画について

インターフェイスでおこなっている臨床宗教師の活動を社会に向けて発信するために、書籍を発行することが提案され、100万円程度の助成金を予算から手当てして出版社の選定を始めることが承認された。

5. 能登半島地震支援について

中部臨床宗教師会による能登半島地震の活動について報告がなされた。志賀町在住の会員を中心に、中部臨床宗教師会が活動費を捻出してカフェ活動をしてきた。今後は支援金口座を設けて資金を募集する予定。

6. 各委員会より報告

(1) 研究委員会報告

「医療と臨床宗教師の連携プロジェクト」（プロジェクト長：沼口副会長）の計画、各教育プログラムへのアンケート調査結果について報告された。

(2) 倫理委員会報告

全国連携委員会において情報交換を行なったこと、「倫理Q&A」を作成し公表したことが報告された。

(3) 全国連携委員会

「倫理に関する懇談会」の実施、益城町豪雨災害支援の終了（募金額45万円）、旧統一教会被害者支援の有志の会の活動の継続について報告された。

7. 令和5年度事業報告・決算報告

略。本誌第15号参照。

8. 令和6年度事業計画・予算案

略。本誌第15号参照。

令和6年度第2回臨時理事会議事録（抄）

日時： 令和6年7月28日(日) 19時～21時25分

会場： オンライン会議システム

出席： 鎌田東二（会長）、柏木哲夫（監事）、高木慶子（顧問）、大下大圓（副会長）、瀧口俊子（副会長）、沼口諭（副会長）、谷山洋三、鍋島直樹、井川裕覚、池内龍太郎、大村哲夫、小西達也、坂野大徹、曾根宣雄、童銅啓純、野々日月泉、榎野統胤、松本峰哲、森田敬史、吉尾天声、眞如晃人（北海道代理）、高橋悦堂（東北代理）、高橋原（事務局）、打本弘祐（事務局）

欠席（委任状あり）： 島蘭進（監事）、足立隆厳、伊藤雅之、葛西賢太、黒川雅代子、坂野大徹、佐藤慶太、松本峰哲、松谷寛元

<議案>

1. 前回議事録が承認された。

2. 入退会申込者について承認された。

入会： 正会員5名、賛助会員（個人）1名

退会： 正会員1名、賛助会員（個人）1名

合計：正会員304名、准会員3名、賛助会員（個人）6名、賛助会員（団体）13団体、顧問5名

3. 役員について

次期役員の人選について議論が行われ、若手の起用、ジェンダーバランスに配慮した選出方針、選出方法などが検討された。

令和6年度第3回臨時理事会議事録（抄）

日時： 令和6年9月8日(日) 19時～21時30分

会場： オンライン会議システム

出席： 鎌田東二（会長）、瀧口俊子（副会長）、沼口諭（副会長）、柏木哲夫（監事）、島蘭進（監事）、谷山洋三、鍋島直樹、足立隆厳、井川裕覚、池内龍太郎、伊藤雅之、大村哲夫、葛西賢太、黒川雅代子、小西達也、坂野大徹、曾根宣雄、童銅啓純、野々日月泉、榎野統胤、松本峰哲、森田敬史、吉尾天声、高橋悦堂（東北代理）、高橋原（事務局）、打本弘祐（事務局）

欠席： 大下大圓（副会長）、松谷寛元（以上、委任状あり）、佐藤慶太

<議案>

1. 前回議事録が承認された。

2. 入退会申込者について承認された。

入会： 正会員6名

退会： 正会員3名

合計：正会員307名、准会員3名、賛助会員（個人）6名、賛助会員（団体）13団体、顧問5名

3. 次期役員について

・8/22開催の運営委員会にて作成された次期役員
の人事案が報告され、島蘭進監事が次期会長となり、次期副会長に瀧口副会長、沼口副会長、谷山事務局長、監事に柏木監事および大下副会長となることが承認された。

4. その他

(1) 資格認定委員会報告

新規の資格申請者11名、変更届2名、資格更新4名、更新猶予4名、返上8名、剥奪2名、停止2名。

資格申請に際して、来年7月以降の申請分より、新規資格申請書類として「資格申請理由書」（元々「特別枠」で使用していたもの）を追加することが提案され、承認された。

(2) 全国連携委員会

委員会の開催状況、旧統一教会被害者支援の有志の会活動報告（個人面談2回）がなされた。

(3) 女性の会

瀧口副会長より、日本臨床宗教師会の約300名の会員のうち80名程を占める女性会員同士の交流の機会を持つ提案がなされた。野々目理事、黒川理事の協力により進めていくことが承認された。

令和6年度第4回理事会議事録（抄）

日時： 令和6年12月1日(日) 19時～21時

会場： オンライン会議システム

出席： 鎌田東二（会長）、瀧口俊子（副会長）、沼口諭（副会長）、島蘭進（監事）、谷山洋三、鍋島直樹、井川裕寛、池内龍太郎、大村哲夫、葛西賢太、黒川雅代子、小西達也、曾根宣雄、童銅啓純、野々目月泉、榊野統胤、松本峰哲、吉尾天声、眞如晃人（北海道代理）、高橋悦堂（東北代理）、打本弘祐（事務局）、高橋原（事務局）

欠席： 大下大圓（副会長）、足立隆蔵、伊藤雅之、坂野大徹、松谷寛元、森田敬史（以上、委任状あり）、柏木哲夫（監事）

<議案>

1. 前回議事録が承認された。

2. 退会申込者について承認された。

退会：2名

合計：正会員305名、准会員3名、賛助会員（個人）6名、賛助会員（団体）13団体、顧問5名

3. 次期役員について

追加で理事就任を依頼する人事案が検討され、理事定員上限の30名とすることが承認された。

4. その他

継続教育委員会と教育プログラム認定委員会の合併（教育委員会として発足）、社会活動支援委員会の新設が提案され、承認された。

瀧口副会長より「女性の集い」が11月15日にオンラインで開催されたことについて報告された。

訃報

本会前会長の鎌田東二先生が5月30日にご逝去されました。鎌田東二先生は、本会が任意団体として設立された2016年2月28日に開催された記念シンポジウム「臨床宗教教育の可能性」（於龍谷大学）にほら貝を携えて駆けつけてくださって以来、臨床宗教師の活動に大きな期待を寄せられ、2017年2月の一般社団法人設立時には副会長に就任されました。2021年4月より島蘭進初代会長のあとを継いで2025年3月まで本会会長の任をまっとうされました。謹んでお悔やみ申しあげますとともに、臨床宗教師の活動を支援してくださった先生のご尽力に対してあらためて感謝を捧げ、またご期待に応えられるよう努力を続けてまいります。

日本臨床宗教師会

事務局より

・2024年度の年間活動報告書が未提出の方は9月に資格停止となります。所属地域の臨床宗教師会に毎年提出が必要です。ご注意ください。

・2020～23年度の4年分の年間活動報告書をまとめた冊子を配布しましたが、紙媒体での発行はこれをもって終了し、PDFファイルによってオンライン掲載する形に切り替えます（会員限定公開または配布）。

・日本緩和医療学会学術大会（2025.7.4-5、福岡）、日本死の臨床研究会年次大会（2025.11.1-2、盛岡）における臨床宗教師に関する企画への参加費に対して、日本臨床宗教師会からの助成金支給が認められました。今後も同様の助成ができるように制度を整えていく予定です。学会等への参加を積極的に検討していただければ幸いです。

・資格認定、資格更新の申請受付は毎年7月、12月です。所属する地域臨床宗教師会の代表とも確認しながら手続きをお進め下さい。***次回より「資格申請理由書」の提出が必要となります。**

・能登半島地震支援のための募金を引き続き受け付けています。

【支援金振込口座】

十六銀行（銀行コード0153）

赤坂支店（店番211）

普通貯金 口座番号 1413127

名義 中部臨床宗教師会（チュウブリンショウシュウキョウシカイ）

日本臨床宗教師会（郵送先）

〒980-8576

仙台市青葉区川内2-7-1

東北大学大学院文学研究科

死生学・実践宗教学専攻分野気付

FAX: 022-795-3831

Email:

sicj@g-mail.tohoku-university.jp

URL: <http://sicj.or.jp>